

令和七年度 後期日程 文学部 日本・中国文学学科
入学者選抜学力検査問題 国 語

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は余白を含めて十ページ、解答用紙は一枚からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 この問題の満点は一〇〇点であるが、科目配点に応じて三〇〇点満点に換算する。
- 9 字数制限のある解答では、句読点や括弧なども字数に含める。
- 10 試験時間中の退出は認めない。
- 11 問題は持ち帰ること。

一

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で文章の一部を省略したところがある。(40点)

(著作権の関係で不掲載)

（著作権の関係で不掲載）

（著作権の関係で不掲載）

(著作権の關係で不掲載)

(加藤周一「現代の藝術的創造——日本の現代藝術の国内的・國際的条件を中心に」による)

(注) ○藝術……芸術に同じ。 ○「ピエタ」……死んだキリストを抱くマリアを主題とした芸術。 ○六朝……中国魏晉南北朝

期のこと。 ○ゴティク……中世欧州で起こったゴシック様式のこと。 ○ヴィルヌーヴの『ピエタ』……一五世紀にフラ

ンスで制作された「ピエタ」。 ○北魏仏頭……中国魏晉南北朝の北朝で作られた仏像彫刻の頭部。 ○ロマン主義……

一八世紀から一九世紀にかけて盛んであった思想。 ○シユールレアリスム、キュービズム、フォーヴィスム……いずれも

二〇世紀に起こった芸術運動。 ○デフォルマシオン……芸術において、対象を変形して表現すること。 ○マルロー……

フランスの小説家、政治家。 ○ルオー、デュビュッフェ……いずれもフランスの画家。 ○『火刑台上のジャンヌ・ダル

ク』、『ヴォツエック』、『ヨゼフとその兄弟』、『フェリックス・クルル』……いずれも芸術作品。 ○カンヴァス……油絵を

描く布。 ○矩形……長方形。 ○エピゴーネン……模倣者。

問一 傍線部 ① ㄱ ⑧ について、カタカナは楷書の漢字に改め、漢字はそのよみをひらがなで記せ。

問二 傍線部 I 「市民社会における藝術家の疎外現象」とは、どのような現象か。わかりやすく説明せよ。

問三 傍線部 II 「他の藝術の領域に属する要素をも追い出そうとする」とは、どういうことか。わかりやすく説明せよ。

問四 傍線部 III 「残らなかった芯を手本とするのは、馬鹿げたことである」とあるが、それはなぜか。理由をわかりやすく説明せよ。

(余
白)

二

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。(30点)

千代女は加賀の松任まつたふの人にて、幼きより風流の志ありて、俳諧たいしを嗜む。しかれども其師そのをえず。是これかれ行脚の人にとふに、美濃みのうの廬元坊ろげんぼうを称することみな同じ。ここに於て殊更しゆかうに行きて学ばんとおもへるに、折しも行脚して来りしかば、其旅宿りやくしゆくに就いて相見さうけんをこひ、志をのぶ。元草くたひ臥れたりとて寝てありし所へゆきて、教をもとむるに、「さらば一句せよ」といふ。

甲 の比ひなれ

ば時鳥を題とす。やがて句を吐きたるに、元其ただものならざる氣韻きいんを見て、其句を肯うけがはず、「是はたれもすべき所也」といふ。さらばとて又一句を吐く。なほ肯うけがはざること初はつのごとし。元は既に眠ねむりにつけども女はなほさらす、沈吟しんぎんす。其眼めのさめたるをうかがひては又一句をとふ。かくて数句に及び、つひに暁天せうてんに至る時、元起きて「終夜しゆうやさらざりしや、夜は明けたりや」とおどろく。時に千代女、

Ⅱ ほととぎす郭公はくととぎすとて明けにけり

といへるを大いに賞し、「是是也。汝、他日、此意地このをわすることなくば、名、天下にふるはん」と、師弟の約をなせり。果して女流にめづらしき此道の高名に至れり。これはまだ少女の時なりけらし。後、聳むこどりせし時、

Ⅲ しぶかろかしらねど柿はつの初はつちぎり

まことに俳諧たいしにてをかし。二十五歳にて夫つまにわかれし時、

起きてみつ寝てみつ蚊屋かやのひろさ哉

生涯まづた身を全うし、一人の男子に夫の家を嗣つぎがしめて、のちは尼になりて別居し、素園むくわんといふ。

(『続近世畸人伝』による)

(注) ○松任……石川県白山市。 ○行脚の人……行脚俳人。 ○廬元坊……俳諧師。美濃国きたがた北方の人。 ○元……廬元坊。

問一 空欄 甲 に入れる語句として、最も適当なものを次の a ～ d から一つ選び、その記号で記せ。

- a 初春 b 初夏 c 初秋 d 初冬

問二 傍線部 I について、

- (ア) 主語や目的語を明確にして現代語訳し、
(イ) 主語の人物はなぜそのような行動を行ったのか。わかりやすく説明せよ。

問三 傍線部 II について、

- (1) この句をわかりやすく解釈し、
(2) この句をなぜ「大いに賞し」たのか。わかりやすく説明せよ。

問四 傍線部 III について、この句の「をかし」さについて、句の解釈に言及しながら、わかりやすく説明せよ。

三

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で送りがなを省略したところがある。(30点)

西川、費孝先、善軌革、世皆知名。有大若人王旻、因貨殖至成都、
 求為卦。孝先日、教住莫住。教洗莫洗。一石穀搗、得三斗、
 米。遇明即活、遇暗即死。再三戒之、令誦此言足矣。旻志之。
 及行、途中遇大雨、憩一屋下。路人盈塞、乃思曰、教住莫
 住、得非此耶。遂冒雨行。未幾、屋遂顛覆、独得免焉。
 旻之妻已私隣比、欲媾終身之好、俟旋歸將致毒謀。旻既至、
 妻約其私人曰、今夕新沐者乃夫也。將晡、呼旻洗沐、重易巾
 幘、旻悟曰、教洗莫洗、得非此也。堅不從。妻怒、不省、自
 沐、夜半反被害。既覺、驚呼隣里共視、皆莫測其由。遂被囚繫
 拷訊。獄就、不能自弁。郡守錄狀、旻泣言、死即死矣。但孝先
 所言、終無驗耳。

左右以是語上達、郡守命未得行法、呼旻問曰、汝隣比何人

也。^ト 曰^ク、康七^{ナリト}。遂^ニ遣^{リテ}人捕^フ之^ヲ。殺^{セシ}汝妻^ガ者^ハ、必^ズ此^ノ人也^ト。已^ニ而果然^ニ。
因^{リテ}謂^{ヒテ}僚佐^ニ曰^ク、一石^ノ穀搗^{カバ}、得^{ルハ}三斗^ノ米^ヲ、非^ニ康七^一乎[。]由^レ是^ニ弁雪^ス。誠^ニ遇^{ハバ}明^ニ即^チ活^{クル}之^ヲ効^{ナリ}。

(『捜神記』による)

(注) ○西川……地名。現在の四川省にある。 ○費孝先……人名。 ○軌革……占いの術。 ○大若……地名。 ○王旻……人名。 ○貨殖……金もうけ。 ○成都……地名。現在の四川省にある。 ○一石穀搗、得三斗米……「石」は容量の単位。一石は十斗に相当する。十斗の玄米を精米すると、三斗の米と七斗の糠^{ぬか}を得る。 ○明……明察する人。 ○盈塞……いっぱいになる。 ○私……不倫する。 ○隣比……隣近所。 ○毒謀……悪辣な計略。殺害計画。 ○晡……暮れる。 ○巾幘……手ぬぐい。 ○拷訊……拷問する。 ○獄……裁き。 ○僚佐……補佐役。 ○康……康は糠に通じる。 ○弁雪……真相を解明して冤罪^{えんざい}を晴らす。

問一 波線部 ① ⑤ の読みを、現代仮名遣いにより、送りがなも含めてすべてひらがなで記せ。

問二 傍線部 A の「此言」の内容を具体的に説明せよ。

問三 傍線部 B を現代語訳せよ。

問四 傍線部 C を現代仮名遣いにより、すべてひらがなで書き下し文にせよ。

問五 傍線部 D について、このように言う理由を簡潔に説明せよ。